

会社概要 (2025年10月31日現在)

設立 1910年(明治43年)8月  
資本金 1,378百万円  
従業員数 323名(連結953名)  
東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号  
福山本社 広島県福山市一文字町14番14号  
工場 函館・福山  
事業所等 札幌・網走・函館・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

株式の状況 (2025年10月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 6,400,000株  
発行済株式の総数 ..... 2,605,000株  
株主数 ..... 4,262名

取締役及び監査役 (2025年10月31日現在)

代表取締役社長	小林宏明
専務取締役	小林重久
取締役	北村浩樹
取締役	芳徳樹
取締役	岡村耕一郎
取締役	杉原祥二
常勤監査役	之原祥二
常勤監査役	小柴治夫
常勤監査役	杉和隆
監査役	森造己
監査役	立川藤
監査役	佐藤卓

主要グループ会社 (2025年10月31日現在)

**[国内]**  
多久製網株式会社 有限会社吉田漁業部  
株式会社泰東 株式会社温泉津定置  
日東ネット株式会社 株式会社庄司政吉商店  
日本ターニング株式会社 ヤマグチ株式会社  
CNK株式会社

**[海外]**  
レデス・ニットー・チリ・リミターダ(チリ)  
タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.(タイ)

上場証券取引所 東京、名古屋

# 第125期 中間報告書

2025年5月1日から2025年10月31日まで

# 変化する時代のニーズに応え、確かな価値と 安定供給に努めてまいります。



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業に対して平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申しあげます。  
ここに、当社第125期中間連結会計期間(2025年5月1日から2025年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申しあげます。

2026年1月

代表取締役社長 小林宏明

### Q1 当中間期の市場環境と業績はいかがでしたか?

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、外食産業や輸出向けの需要が堅調に推移していること等を背景に、多くの魚種で魚価の回復が見られます。一方で、海洋環境や気象状況の変動が大きくなっています。今夏の猛暑による海水温の上昇の影響等により、一部の魚種

では漁獲量が減少しております。また、人件費や資材コストの上昇等が事業収益の圧迫要因となっており、漁業資材への設備投資意欲は減退していないものの、やや慎重になるケースも見受けられます。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業関連事業では、魚価が堅調に推移したことから養殖網部門が活況となり、加えて水産部門の売上高や漁業子会社の水揚高が好調であったこと等により、前年同期と比べて

増加しました。陸上関連事業でも、獣害防止ネットやアスレチックネット等の施工工事の受注が好調であったことから前年同期と比べて売上高は増加しました。一方で、営業利益は、継続的な価格改定等を推進しましたが、受注確定の遅れなどにより、生産の平準化を図れなかったこと及び原材料費や人件費等のコストの上昇により前年同期と比べて減少しました。営業外損益では、為替変動による為替差益や外国税還付金を計上しました。また、金利の上昇に伴い、支払利息が前年同期と比べて増加しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は10,890百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は287百万円(前年同期比36.2%減)、経常利益は482百万円(前年同期比2.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は296百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

### Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

当中間期の国内景気は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要が堅調であることから経済活動は緩やかな回復が期待される一方、長期化するウクライナ情勢などの地政

## 漁業関連事業

8,996百万円 (82.61%)

魚価が堅調に推移し、漁業者の計画的な設備投資は継続していること等から、養殖網部門が活況となり、加えて、水産部門の売上高や漁業子会社の水揚高が好調であったこと等により、売上高は8,996百万円(前年同期比0.7%増)となりました。利益面は、生産の平準化を図れなかったことや人件費等のコスト上昇により、セグメント利益は219百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

## 事業紹介



定置網



海苔網

その他  
0百万円  
(0.1%)

## 陸上関連事業

1,893百万円 (17.38%)

獣害被害の増加に伴い、獣害防止ネットの受注が増加したこと及びアスレチックネット等の施工工事の受注が好調であったことから、売上高は1,893百万円(前年同期比25.3%増)となりました。利益面は、人件費等の経費は上昇しましたが、売上高の増加により、セグメント利益は67百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

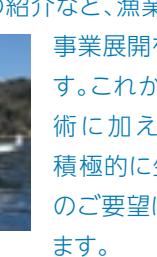
## 事業紹介



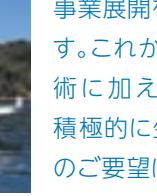
防砂防砂ネット



獣害防止ネット



船舶



獣害防止ネット

事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。

